



## オーストラリア直送レポート

**Vol.1** 2018.8.9～ 有田川町からオーストラリアへ

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・井口
- パーマストン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場

8月9日木曜日。ついに平成30年度中学生海外研修の出発の日を迎えました。今年度の研修生は、吉備中学校19人、金屋中学校8人、石垣中学校1人、八幡中学校2人の合計30人です。その中でドリップストーン班16人、パーマストン班14人の2班に分かれて、研修を行います。集合時間の30分程前から、緊張した表情で研修生が集まりはじめました。集合時間が近づいてくると、友達どうしてにぎやかに話をし、明るい表情に変わりました。出発式を終えて、関西空港に向かう移動中も、車内では元気な会話が絶えず聞こえてきました。

関西空港に到着し、チェックインや手荷物検査の時は、はじめて経験する研修生が多く緊張している様子でした。出発までの自由時間では、お菓子を買ったり、飲み物を買ったり、リラックスした時間を過ごしていました。

機内に乗り込み席に着くと、初めて飛行機に乗る研修生もあり、少し不安そうな表情でしたが、しばらくすると慣れてきたのか、座席についているモニターで映画を観たり、ゲームをしたりして過ごしていました。機内食が運ばれて来るときに、CAとの会話で照れながらも英語で受け答えしていました。会話をしている研修生達の表情を見て、帰国の時にはこういった成長があるのか楽しみになりました。途中、体調を崩す研修生や、慣れない飛行機でのせいか、疲れた様子の研修生が見受けられました。シンガポールで乗り換えを行い、しばらくして、ダーウィン行きの飛行機に乗り込みました。機内では、疲れが溜まっているのか、ほとんどの生徒が寝ていました。

しかし、ダーウィンに着く頃になると、窓からオーストラリア大陸が見え、いよいよ始まるオーストラリアでの生活に期待と不安が混じった様子で窓の外を覗いていました。



ダーウィンに到着し、入国審査を終えてから、ホストファミリーと対面しました。最初は緊張した様子

で、あまり会話もできていませんでしたが、しばらくすると、笑顔で会話をしている研修生を見て、一安心しました。また、短時間で順応する研修生たちを見て、この研修でどのように成長していくのか非常に楽しみになりました。いよいよ現地での研修が始まります。研修生たちには、この研修に参加した目的を忘れずに、今しかできない経験を、より多くして欲しいと思います。私は、はじめての引率ですが、引率の先生方や、現地校の先生と協力し、研修生達にとって実りある研修となるよう、全力でサポートしていきたいと思います。(井口)

たくさんの研修を終了し、いよいよこの日を迎えられ、全員が元気に集合できてよかったです。テンションが上がりすぎ、集合時やバスの中でもうるさいくらいでしたが、これからへの期待と、うれしくワクワクする気持ちの表れだと思い、困ったような、頼もしいような気持ちで関西空港へ到着。乗った飛行機が少し揺れたので、気分が悪くなる子も多かったですが、ダーウィンに着いた時の笑顔でほっとしました。長旅の疲れもあり心配もありましたが、それぞれのホストファミリーとの出会いは、これまでにないすてきな瞬間であったと思います。研修の終わりに、どんな収穫を持った表情で、この同じ空港に集合できるのか、今から楽しみになりました。

どうか、体調をくずさず、一生に一度いただいたこの体験を、自分の精一杯で過ごせますように。(田中)



今年の日本は猛暑が続く毎日ですが、6月からはじまった事前研修及び事前研究発表会を終えて、本日8月9日 有田川町中学生海外研修団は出発の日を迎えました。今年度の研修生はパーマストーン班は金屋中学生8名、八幡中学生2名、石垣中学生1名、吉備中学生3名、ドリップストーン班は吉備中学校生16名の合計30名です。集合場所である、吉備庁舎のホールは異国の地への興味と関心を抱いた研修生たちの熱気に包まれていました。研修生の笑顔と裏腹に大切な我が子を海外に送り出す保護者の方々の心配そうな表情が印象的でした。何年前かに我が子をこのオーストラリア研修に見送った時の事を思い出しました。関西国際空港では研修生たちはリラックスした様子で友達と話すなどして思い思いの時間を過ごしていました。しかし、税関の通過や出国審査、手荷物検査では緊張した様子が窺えました。無事搭乗手続きを済ませ飛行機が離陸の時を迎えました。はじめて飛行機に乗る研修生も多く、不安そうな表情が見られましたが無事離陸を済ませると直ぐに機内で音楽を聴いたり、映画をみたり隣の友達と談笑して過ごし



ていました。しばらくするとブランケットを被り眠りにつく研修生たち。中には慣れない環境のためか寝つけなさそうな研修生もいました。早朝の機内食が運ばれてきました。CAからメニューを尋ねられました。一瞬、戸惑った表情を見せながらも好みのメニューを注文しました。研修生たちの順応性の高さを感じました。機内で体調不良を訴える子もいましたが、引率の先生方の力を借りながらシンガポールに到着しました。到着後すぐに研修生達の体調の確認をすると、眠気と体調不良を訴える者もいました。シンガポールの空港で約三時間程度の自由時間を過ごす中で、体調が回復して食事を食べる様子を見て安心しました。シンガポールからダーウィンに向かう飛行機の中では、ほとんどの研修生達が寝ていました。中には、自分からCAに話しかける研修生を見てたくましさを感じました。日本を離れて14時間余り、移動の疲れもピークに達しましたが、いよいよダーウィン国際空港到着です。ホストファミリーとの対面の時がやってきました。緊張の一瞬です。研修生達は、自分のホストファミリーを名前だけを頼りに捜しました。出会いの瞬間、ホストファミリーの方々の優しい笑顔に包まれる研修生たちを見て一安心です。その後、ホストファミリーとの記念写真を済ませるとそれぞれの目的地に向けて出発しました。今日から、普段過ごしている日本の家族とは別のオーストラリアのホストファミリーとの生活が始まります。多様な文化、習慣、風習、宗教などを感じ、研修生達がどう感じ、どう考え、どう行動するのか。土日過ごした研修生に出会える月曜日が今から楽しみです。研修生一人ひとりの目的に沿ったサポートを引率の先生方と共に全力で行なっていきたいと思います。(松場)

とにかくやる気満々、事前研修中もオーストラリア出発に向けて一生懸命準備に取り組んできたみなさん。危うく台風到来かと心配しましたが、台風もみなさんの熱意を阻むことはできなかったようです。お見送りに来てくださった家族のみなさんや役場のみなさん、そして校長先生方に笑顔で別れを告げ、一路シンガポールのチャンギ国際空港に向けて出発。慣れないフライトと乗り継ぎで、ちょっぴり疲れも見受けられましたが、ついにオーストラリアのダーウィンに到着。パーマストン校グループのホストファミリーは、学校で待っていてくれるということで、空港に迎えに来て下さっていたバスで学校まで移動。バスでは、みんな車窓に広がる初めての街並みにわくわくドキドキしている様子でした。学校では、ホストファミリーのみなさんが温かく出迎えて下さり、みんな笑顔でそれぞれの家庭に出発していきました。みなさんと次に会うのは月曜日。ホストファミリーのみなさんと初めて過ごす週末の様子を聞くのが今から楽しみです。(島田)

